

## 新規事業箇所調書

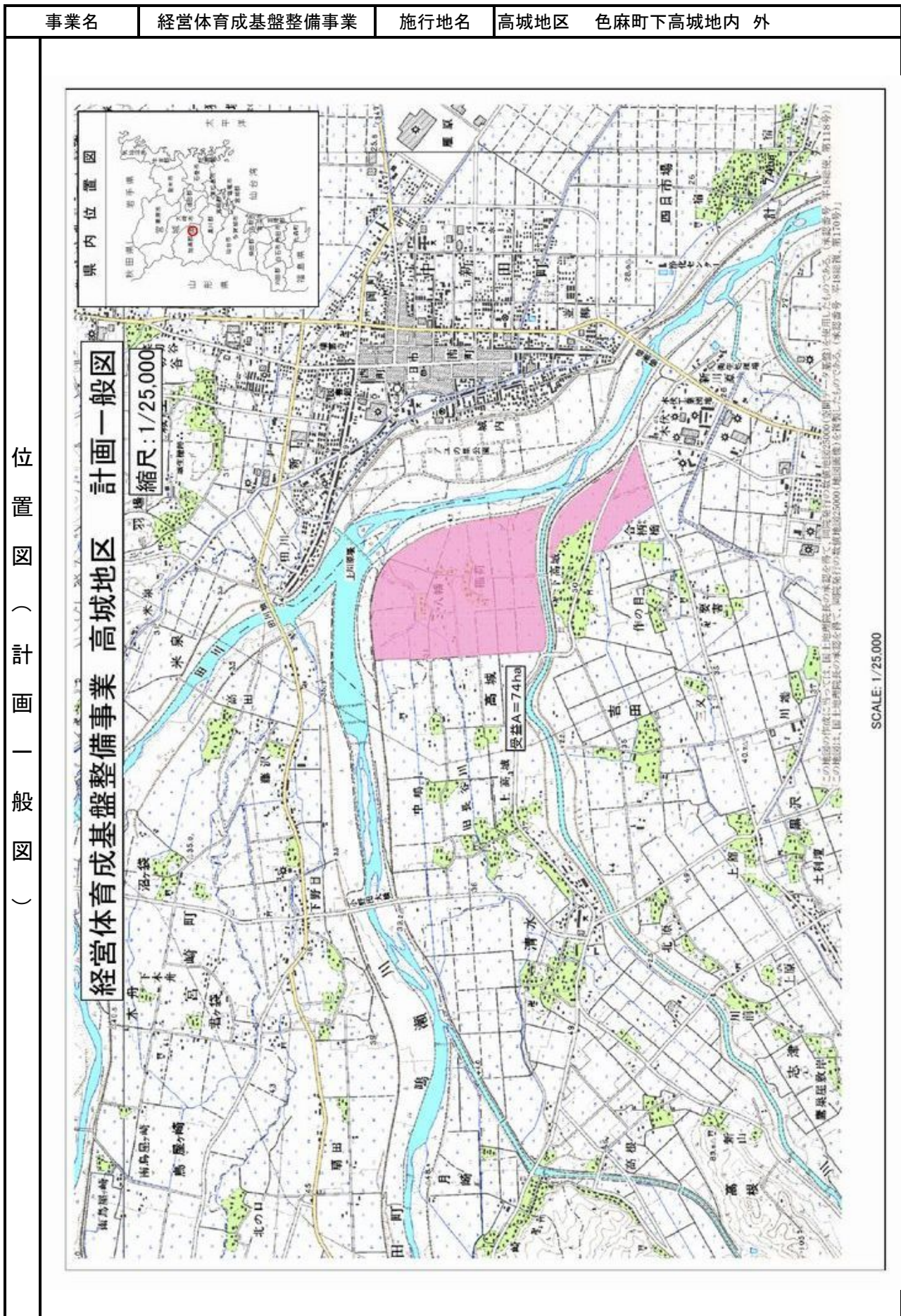
		調書作成年月日		平成22年 2月 9日																								
		事業担当課		農村整備課																								
<b>事業名</b>	経営体育成基盤整備事業 <small>たかぎ</small> (高城地区)	<b>補助・単独の別</b>	補助	<b>事業主体</b>	宮城県																							
<b>施行地名</b>	<small>か み ぐん し かまちようしもたかぎ か み まちきたたかぎ</small> 加美郡色麻町下高城, 加美町北高城地内			<b>管理主体</b>	色麻町, 加美町, 色麻町色麻土地改良区																							
<b>根拠法令</b>	土地改良法																											
<b>事業の概要</b>	<b>事業目的</b>	<p>本地区は、宮城県北西部の大崎耕土の西部（色麻町高城地区）で船形山を背後にかかえる水田地域に位置し、一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川右岸沿いの河岸部に展開する水稲単作地帯である。</p> <p>地区内は、一級河川鳴瀬川水系保野川で2工区（北高城工区、下高城工区）に区分され現況の水田区画面積は5a～10a前後の整理地となっている。ただし、用排水路は未分離の土水路であり、道路も不備なため耕作に支障をきたしており、農業生産性の向上、近代的営農には程遠い状況にある。</p> <p>よって、本事業により区画形状の拡大、道路・用排水路の整備を行い、汎用耕地による土地利用率の向上を図り、機械化営農による生産性の向上、並びに農業構造の改善に資する。また、土地利用調整を促進し、生産性の高い水田農業の確立を図るとともに、環境負荷軽減農業、地場産品の販売促進、都市との交流等、新たな農業展開を推進し、地域の活性化を図る事を目的とする。</p>																										
	<b>事業内容</b>	区画整理工 A=68.9ha																										
	<b>事業費</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 (受益者)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>内用地費</td> <td>[ 50 % ]</td> <td>[ 30 % ]</td> <td>[ 10 % ]</td> <td>[ 10 % ]</td> </tr> <tr> <td>8.51億円</td> <td>0.00億円</td> <td>4.25億円</td> <td>2.56億円</td> <td>0.85億円</td> <td>0.85億円</td> </tr> </table> <p>※ 金額は地方事務費を含まないもの。</p>					全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他 (受益者)		内用地費	[ 50 % ]	[ 30 % ]	[ 10 % ]	[ 10 % ]	8.51億円	0.00億円	4.25億円	2.56億円	0.85億円	0.85億円
	全体事業費		費用負担内訳																									
国			県	市町村	その他 (受益者)																							
	内用地費	[ 50 % ]	[ 30 % ]	[ 10 % ]	[ 10 % ]																							
8.51億円	0.00億円	4.25億円	2.56億円	0.85億円	0.85億円																							
<b>事業期間</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="4">平成22年度～平成27年度（6年間）</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成 一年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td colspan="2">平成24年度</td> </tr> </table>					事業期間	平成22年度～平成27年度（6年間）				用地買収着手予定年度	平成 一年度	工事着手予定年度	平成24年度														
事業期間	平成22年度～平成27年度（6年間）																											
用地買収着手予定年度	平成 一年度	工事着手予定年度	平成24年度																									
<b>施設管理の予定</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>施設項目</td> <td>道路工</td> <td colspan="3">用水路工・排水路工</td> </tr> <tr> <td>管理区分</td> <td>色麻町、加美町</td> <td colspan="3">色麻町色麻土地改良区</td> </tr> </table>					施設項目	道路工	用水路工・排水路工			管理区分	色麻町、加美町	色麻町色麻土地改良区															
施設項目	道路工	用水路工・排水路工																										
管理区分	色麻町、加美町	色麻町色麻土地改良区																										

	上位計画等																												
	○上位計画 以下の計画において、優良農地として、大区画によるほ場の早期整備を推進することが位置付けられている。 ・農業振興地域整備計画（色麻町，加美町）（昭和45年3月） ・水田農業ビジョン（色麻町，加美町）（平成21年4月） ・みやぎ農業農村整備基本計画（宮城県）（平成18年）																												
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢等																												
	○社会経済情勢 米価の引き下げ，米の関税化，恒常化した米の生産調整，農業後継者問題と農業従事者の高齢化等など農業を取り巻く環境は年を追うごとに厳しさを増している。 このような状況の中で，本地区では，集落営農組合による有機栽培米や野菜栽培等の取り組みが始まっており，作業効率を高める水田の大区画化や汎用化が必要となっているため，地域より基盤整備事業導入の要望が強い。  ○地元情勢，地元の意見 色麻町では，「米政策改革大綱に対応した水田農業モデルづくりプロジェクト」事業により，水田・畑作経営所得安定対策に対応した上高城集落営農組織，下高城集落営農組織が立ち上がっており，農地利用集積をより進めるため早期に地区の基盤整備事業が望まれている。  (1) 関係市町村，受益者の合意状況 色麻町，加美町，色麻町色麻土地改良区及び受益者と合意に達している。 (2) 営農支援体制 色麻町町担い手協議会設立予定（平成22年4月） 構成メンバー：色麻町，JA，色麻町色麻土地改良区 (3) 地元の事業推進体制 高城地区活性化委員会（平成18年設立）																												
事業の有効性	事業効果																												
	○想定される事業効果 (1) 地域農業の中心となる担い手農家の育成が図られる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業生産組織</td> <td>2組織</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>農業生産法人</td> <td>—</td> <td>2法人</td> </tr> </tbody> </table> (2) 営農機械の大型化及び経営規模の拡大により，生産コストが低減する ア) 担い手経営体の地区内経営面積が農地集積により増加する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地集積面積</td> <td>42.9ha</td> <td>50.6ha</td> </tr> <tr> <td>農地集積率</td> <td>59.0%</td> <td>73.4%</td> </tr> </tbody> </table> イ) 地区内農家の水稲・大豆作付けに係る労働時間が減少する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">労働時間</td> <td>水稲</td> <td>19.8hr/10a</td> <td>15.5hr/10a</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>7.1hr/10a</td> <td>4.1hr/10a</td> </tr> </tbody> </table>	項目\区分	現況	計画	農業生産組織	2組織	—	農業生産法人	—	2法人	項目\区分	現況	計画	農地集積面積	42.9ha	50.6ha	農地集積率	59.0%	73.4%	項目\区分	現況	計画	労働時間	水稲	19.8hr/10a	15.5hr/10a	大豆	7.1hr/10a	4.1hr/10a
項目\区分	現況	計画																											
農業生産組織	2組織	—																											
農業生産法人	—	2法人																											
項目\区分	現況	計画																											
農地集積面積	42.9ha	50.6ha																											
農地集積率	59.0%	73.4%																											
項目\区分	現況	計画																											
労働時間	水稲	19.8hr/10a	15.5hr/10a																										
	大豆	7.1hr/10a	4.1hr/10a																										

事業の有効性	ウ) 地区内農家の水稲・大豆作付けに係る生産コストが減少する。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">生産コスト</td> <td>水稲</td> <td>143千円/10a</td> <td>87千円/10a</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>83千円/10a</td> <td>31千円/10a</td> </tr> </tbody> </table>		項目\区分	現況	計画	生産コスト	水稲	143千円/10a	87千円/10a	大豆	83千円/10a	31千円/10a		
	項目\区分	現況	計画											
	生産コスト	水稲	143千円/10a	87千円/10a										
大豆		83千円/10a	31千円/10a											
エ) 地区内の機械台数が減少する。														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田植機</td> <td>35台</td> <td>26台</td> </tr> <tr> <td>トラクター</td> <td>35台</td> <td>28台</td> </tr> <tr> <td>コンバイン</td> <td>32台</td> <td>26台</td> </tr> </tbody> </table>		項目\区分	現況	計画	田植機	35台	26台	トラクター	35台	28台	コンバイン	32台	26台	
項目\区分	現況	計画												
田植機	35台	26台												
トラクター	35台	28台												
コンバイン	32台	26台												
事業の有効性	(3) 水田の汎用化により土地利用型作物の拡大が図られ、耕地利用率が向上する。													
	ア) 主な作物の作付け面積													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稲</td> <td>47.6ha</td> <td>47.6ha</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>18.1ha</td> <td>16.4ha</td> </tr> <tr> <td>えごま</td> <td>0.2ha</td> <td>1.5ha</td> </tr> </tbody> </table>		項目\区分	現況	計画	水稲	47.6ha	47.6ha	大豆	18.1ha	16.4ha	えごま	0.2ha	1.5ha
	項目\区分	現況	計画											
水稲	47.6ha	47.6ha												
大豆	18.1ha	16.4ha												
えごま	0.2ha	1.5ha												
イ) 耕地利用率														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耕地利用率</td> <td>99.0%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		項目\区分	現況	計画	耕地利用率	99.0%	100%							
項目\区分	現況	計画												
耕地利用率	99.0%	100%												
事業の有効率	<b>関連事業の概要・進捗状況等</b>													
	なし													
	<b>代替案との比較検討</b>													
事業の有効率	本地域は、下高城集落営農組合、上高城集落営農組合の2つの営農組合の経営区域が大半を占めているが、10aの小規模ほ場が多いため大型機械の導入が出来ず、低コスト経営に支障を来している。 このため、本事業においてほ場を大区画に整備することにより、基幹作業の受委託等の促進を図り、地区面積の約70%を担い手に集積するとともに、農業機械の過剰投資の抑制、有効利用により稲作農業の生産性向上を図る。													
	<b>コスト削減計画</b>													
事業の有効率	現況区画（道・水路配置）を活用した再区画方式を採用し、コスト削減を図る。													

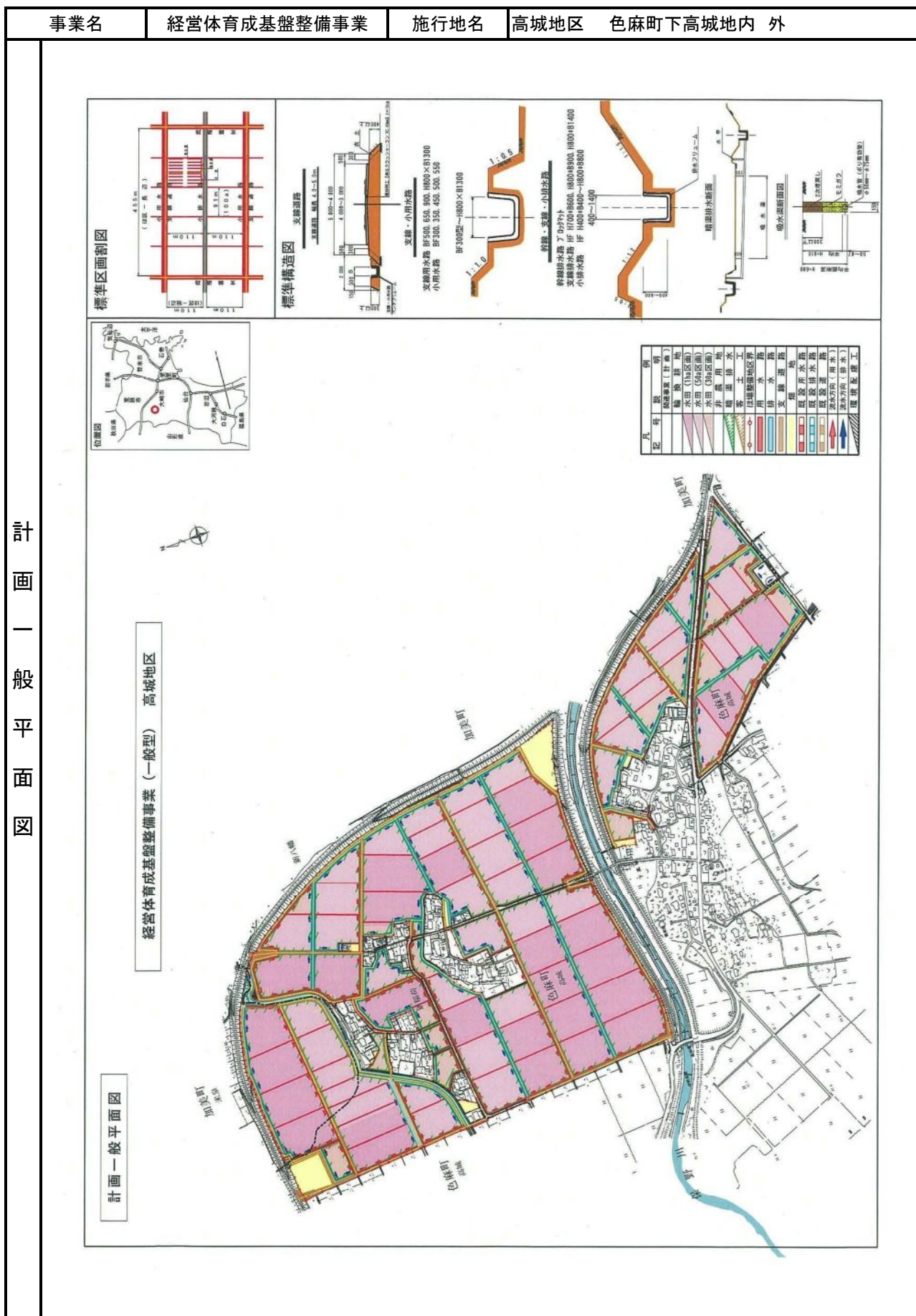
事業の効率的性	費用対効果						
	<p>根拠マニュアル：新たな土地改良の効果算定マニュアル（平成19年版）  （農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課監修）</p> <p>社会的割引率： 4 %  便益算定期間： 46年  基準年：平成21年</p>						
	総費用 現在価値 (C)	945,752千円					
	当該事業による費用	727,352千円					
	その他費用(関連事業等)	218,400千円					
	年総効果(便益)額	58,578千円					
	作物生産効果	31,175千円					
	営農経費節減効果	33,047千円					
	維持管理費節減効果	▲5,658千円					
	耕作放棄防止効果	14千円					
	評価期間(工事工期+40年)	46年					
	割引率	0.04					
	総便益額(B)	1,062,820千円					
総費用便益比(B/C)	1.12						
環境への影響と対策	地域指定状況等						
	<p>本地区は、町が策定する「色麻町田園環境整備マスタープラン」及び「加美町田園環境整備マスタープラン」において、環境配慮地区として位置づけられている。</p>						
総合評価	影響と対策						
	<p>本地区では環境調査の結果、ギバチ、カジカ等の魚類、ダビドサナエ、コオイムシ等の底生生物、セキショウモ、ホソバミズヒキモ等の水生植物が生息している。  このため、幹線排水路にワンド及び魚道工を設け河川との連続性を確保するとともに、幹線排水路装工をブロックマットとし、植物植生への影響を軽減させる。</p>						
総合評価	事業箇所評価結果						
	<table border="1"> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th rowspan="2">評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> <tr> <td>4位/12</td> <td>6箇所</td> </tr> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	4位/12	6箇所	<p>経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)</p> <p style="text-align: center;">—</p>
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)				
	4位/12	6箇所					
対応方針							
事業実施							

事業概要図



( 図 表 一 画 呼 ) 位 置 図

### 事業概要図



## 事業箇所の状況等

事業名	経営体育成基盤整備事業	施行地名	高城地区	色麻町下高城地内 外
 <p data-bbox="400 792 1117 853">高城地区の農地は、現在10a区画が中心となっていることから、大型機械の導入が進まず、効率的な営農を推進するうえでの障害となっている。</p>				
 <p data-bbox="427 1384 1070 1444">地区内の農道の幅員が狭く、効率的な営農に支障が生じていることから、ほ場整備を実施による農道の整備が求められている。</p>				